

## 国語科学習指導案

石川県立津幡高等学校 教諭

指導日時 平成18年9月11日(月) 4限目 教室名13H  
対象生徒 総合学科1年生 40人  
科目名 国語総合(単位数4)  
使用教科書 新編国語総合(大修館書店)

## 1 単元名 自分の考えを書く〈意見文を書こう〉

## 2 単元の目標

- ・現代社会を生きるにあたり、避けられない課題について、深く考察し自分の考えを持つ。  
【関心・意欲・態度】
- ・他の人の主張を正確に理解する。【聞く能力・読む能力】
- ・筋道立てて考えをまとめ、説得力のある文章を書く。【書く能力】

## 3 指導にあたって

## (1) 生徒の状況

自分に自信がないため、自分の内面にある想いを外へ発信する勇気が持てない状況である。また、相手を突き刺すような冷たい単語のやりとりでお互いを傷つけ合ったり、各自がそれぞれ勝手に話題を投げ合って、誰も拾うことを考えていないような状況が見受けられる。

## (2) 指導方針・方法

物事に正面から真摯に粘り強く考える姿勢を求める。そのためには「読み・書き・考える」を繰り返すトレーニングが必要となる。各自が書いた文のよいところを見出し、さらに引き出していくという指導によって、一人一人に自信をもたせ、考える力を高める。そのためにグループ学習から出発して、お互いの意見を尊重し、共感し、よい点を認め合うかたちで授業を展開し、最終的には考えて書くことの繰り返しによる、内面の変革を実感させたい。

## (3) 教材選定の理由

「物に頼らず、心で接しよう」という意見文は、生徒の心情に揺さぶりをかけてくる内容であり、しかも読みやすく、考えやすい身近なテーマについて書かれている。高校生なりに身の回りを見渡して考えたことを、自分の経験と付き合わせて考えていけるという点で最適な教材であると考えた。

## 4 単元の指導計画 (総時数 7時間)

## 第一次 「サッカーと国際協力」(1時間)

現在行われているワールドカップについて意見文を書かせる。教科書の作品を読ませ、自分の書いたものとの違いを分析させ、まとめさせる

## 第二次 「ものに頼らず、心で人に接しよう」(6時間)

- 1時 全員が一文ごとに○(賛成) △(どちらでもない) ×(反対)の印をつける。教師がとりまとめ、○×の両方がついた文をピックアップする。
- 2時 班に分かれて、その中から、テーマとして取りあげる一文を選ぶ。テーマについて各自150字で意見文を書く
- 3時 班員の意見をお互いに読み合い、良いところをピックアップして、それをもとに各自で400字程度の意見文をつくる。
- 4時 班員の意見を合体させた合体意見文(600字程度)を、教師の音読で聞き、全員が評価プリントを用いてそれぞれの作品を採点する。

5時 評価の結果を分析する。さらに、評価の良くなかった作品2点について、全員が2つに分かれ、より説得力のある作品になるよう工夫を加える・・・本時

6時 各自が考えた具体例を評価し合い、良い文章の条件とは何か、再確認する。

5 本時の指導計画（第二次 第5時）

(1) 本時のねらい

- ・様々な意見文に興味を持ち、物の見方、考え方を広めようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・反対の立場の意見にも目配りして、誰が聞いても納得するような根拠を上げて意見文を書くことができる。【書く能力】

(2) 準備・資料等

評価結果プリント・意見文を書いた模造紙・ワークシート・国語辞典

(3) 本時の展開

| 時間        | 学習内容  | 生徒の学習活動  | 教師の指導・支援<br>(学習形態)   | 評価規準<br>【観点】(評価方法)                           |
|-----------|---|--|--|--|
| 導入<br>3分  | 前時のふり返り<br>本時のねらい確認   | これまでの授業の流れをファイルのプリントで確認する  | プリントはすべてファイルに綴じ、ふりかえることができるようにしておく。  |  |
| 展開<br>25分 | 各班の意見文の読み取り<br>評価表の集計結果による、それぞれの意見文の良い点の発見<br>(1, 3, 5, 6, 7, 8, 9, 10班の順で発表する) | 各班の意見文を代表者が音読する。各自は、聞いてから、評価表をもとに、各班の意見文を分析する。(教師の説明に従って線を引いたり、色分けしたりすることで、各意見文を深く理解する。) | 意見文は、プリントにまとめておく。<br>意見発表後、評価表は模造紙で、黒板に掲示する。<br>評価が文章のどの点と結びついているのかを具体的に説明する。                | 【関心・意欲・態度】意欲的に聞き取り、各班の意見文の特徴をつかもうとしている(行動観察) |
| 5分        |   | 一番評価の高かった10班について、他の班と比較し、良い点を理解する。   | 10班の意見文は、模造紙で黒板に掲示し、よりわかりやすいように、マーカーを使って支持されていた箇所を指摘する。                                      |  |
| 14分       | 2, 4班の意見文をより後押しする根拠を考える。  | 2班と4班の代表は意見文を音読する。各自、評価表をもとに意見文を検討し、女子は2班の意見の根拠を、男子は4班の意見の根拠を考えワークシートに書く。(言葉の意味も考慮する)    | 両方の意見文を模造紙で掲示し、補うべき点を見つけやすいようにする。国語辞典を数冊準備して数人に調べさせ、「楽しい」という言葉の意味を確認する。<br>書きやすいワークシートを準備する。 | 【書く能力】誰が聞いても納得できる独自の根拠を明確にまとめている<br>(ワークシート) |
| まとめ<br>3分 | 次時の授業の内容を予告   | プリントを整理し、ファイルに綴じる。   | 次時までにはワークシートを完成させることを確認する。   |  |

